



豊かな自然に、ひと、もの、まちが輝く健康都市、網走

市議会だより

第107号
(令和4年5月)

発行／網走市議会 編集／網走市議会広報委員会



今年はいつ咲くかな？

学園通りの桜並木 (尾形 衛氏 令和3年5月7日撮影)

【もくじ】

トピックス	2 P
各会派代表者質問	3～5 P
予算等審査特別委員会概要	6 P
議案の審査結果	7 P
臨時会概要	8 P

市民のみなさまの傍聴をお待ちしております。

次の定例会は6月14日(火)
～6月23日(木)の開催予定です。

※詳細につきましては、議会事務局へ
お問い合わせください。

■問い合わせ TEL 44-6111(内線281・282)



中継ホームページ
はこちらから

3月定例会のトピックス

第1回定例会概要

網走市議会令和4年第1回定例会が3月2日から3月22日までの日程で開催されました。

初日には、水谷洋一市長より令和4年度市政執行方針、岩永雅浩教育長より教育行政執行方針の説明があり、令和4年度市政施行における様々な方針が示されました。

3月9日、10日の2日間、令和4年度の市政、教育行政について各会派代表質問（3～5ページ参照）が行われました。

令和4年度予算については、議長を除く全議員で構成する、令和4年度予算等審査特別

決議案第1号

「ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議」

3月4日議会冒頭、議員提案により全会一致で可決

委員会が設置され、委員長に立崎聡一議員、副委員長に山田庫司郎議員が就任し、実質6日間にわたり延べ52名の議員による質疑が行われ慎重かつ詳細な審査が行われた。（詳しくは6ページ参照）

議案第12号、27号、28号においては令和3年度網走市一般会計補正予算が提出されました。紙面の都合上一部のみ掲載となるが、除排雪等業務委託の委託料について

2回目の追加議案が提出され委託料9000万円が追加、除排雪委託料は合計で7億303万円の過去最高額となりました。令和3年度一般会計補正予算後の総額は307億449万円となりました。

議案第30号教育長の任命については岩永雅浩氏が再任。議案第31号教育委員の任命は新たに佐々木砂宗氏が任命されました。

また、諮問第1号人権擁護委員には鹿野聡子氏が推薦されました。

採決については議案第28号令和3年度網走市一般会計補正予算、議案第29号網走市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について、松浦敏司議員、村椿敏章議員が反対、その

他の議員は賛成され賛成多数で可決されました。

令和4年度予算等審査特別委員会に付託された令和4年度各会計予算、及び関連議案11件については、立崎聡一委員長より審査報告がなされ大方の委員の意向としていずれも原案どおり可決するものとされました。

また、栗田議員が反対の立場から討論を行い「地域新電力会社の設立について、安易に民間企業へ公金の出資はするべきではないと考える。網走市が出資する明確な答弁が無い。秘密保持契約を盾に相手側の情報を開示しないことは、真実に基づいた審査を基本

とする議会軽視としか思えない。白紙に近い計画にサインすることは出来ない」。その後、同志会を代表して小田部議員が賛成討論を行いました。その後、日本共産党議員団を代表して松浦議員が反対討論を行い、最後に志誠会、公明クラブ、民主市民ネットを代表して近藤議員が賛成討論を行いました。討論の後に起立採決が行われ、起立多数で可決されました。（詳しくは7ページ議決結果参照）



各派代表質問

民主市民ネット
平 賀 貴 幸



問)コロナ禍の影響で網走市内の経済的な損失と財政状況への影響は。

答)観光業・飲食業・交通事業者が多大な影響。あらゆる業種に影響を与えた。昨年度の労働実態調査では、20%以上の売上減少が31.9%、50%以上の売上減少が5.6%という調査結果となった。新型コロナウイルスの拡大は、生活習慣や価値観に大きな変化と影響をもたらし、地域内消費の落ち込みは、相当あると認識。

問)今年度、発生した複数の警察案件を受け止めたうえでの行政運営の対応は。

答)市役所内で発生した複数の不祥事は、管理体制の不備や確認不足など、原因は様々だが、市職員が、相次いで事件、事故を引き起こしたことについて、お詫びを申し上げる。引き続き全庁的に調査、点検を行い、再発防止対策を講じ、職場の中で法令順守の徹底を図る。公用車の車検及び自賠責保険が切れた問題は誠に遺憾。警察の捜査結果が明らかになり次第、直ちに関係職員を処分し、私自身も一定のけじめをつけたい。

問)国勢調査の結果、網走市における人口減少は国勢調査が始まって以来2番目に多い状況。受け止め方と対応は。

答)令和2年の国勢調査の結果、人口ビジョンとの比較では、マイナス2,569人、マイナス6.7%と、想定を下回る結果に。令和2年と平成27年の国勢調査の比較では、3,318人の減少となった。今後、国勢調査結果を基に、将来人口の推計作業に着手する。

問)市内民間企業へのカスタマーハラスメントの調査を踏まえた現状認識と今後の対応は。

答)昨年度の網走商工会議所において実態調査によると悪質クレームに対し困っていると回答した事業所は6.2%だった。対応の課題に対しては、対応力のスキルアップが21.4%、次いで対応方針の明確化が19.2%、対応マニュアルの整備が12.2%との回答。引き続き関係機関との情報収集に努めるとともに、厚生労働省で策定する「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」の周知に努める。

※他に同性パートナーシップ制度の導入や、産業振興対策、公共交通の未来、低炭素社会の推進、ふるさと納税の更なる対応などについても質問しました。

各派代表質問

志誠会
古 田 純 也



問)市の財政運営と事業構築について。

答)財政運営は、過去の財政危機を踏まえ、毎年5年先までの中期財政見通しを作成するとともに義務費、施設管理費、施策費、建設事業費などの事業区分を設定することにより、どの経費にどの程度の一般財源が使われているか明確に予見性を高め、中期的な財政運営の仕組みを構築している。引き続き法令順守の徹底を図る。

問)自治基本条例の制定について。

答)現在のところ条例案を提案することは考えていない。

問)市民の自発的な取り組みへの支援について。

答)柔軟に、可能な範囲で担当課とも連携を図りながら必要な支援に取り組む。

問)外国資本の土地・企業買収の対応について。

答)道内各地で外国資本による土地取引があることは聞いている。今後、対象区域の指定が行われることから、その動向を注視したいと考えている。

問)新電力会社設立による地域へのメリットは。

答)市の遊休地に設置する太陽光発電パネルにより調達し、年間の発電量は200万kw/h程度蓄電池を整備することにより、昼夜の発電量を補完するとともに、災害による停電時には避難施設への電力供給も想定している。

問)健康意識向上へのデジタル化活用について。

答)4月からは24時間健康相談事業にデジタル技術を活用したAIチャットボットを追加するなど市民の利便性を考慮した取組に着手する。

問)高齢者対策の取組の転化と強化について。

答)高齢者の豊富な知識と経験、また有する技術や能力は貴重な社会資源となるため関係機関や関係部署と連携し、高齢者が社会地域の担い手として活躍できる環境づくりに努める。

問)現行のごみ処理計画の検証について。

答)分別の達成が進まないこと、堆肥化処理施設においても異物混入などにより、堆肥化できないごみのため、運用が進まなかったことなどから、現在の状況となっている。令和4年度は「網走市・廃棄物減量化等・推進懇話会」を新たに立ち上げて、次期廃棄物処理施設の在り方について諮問し、新たな計画の策定を進めてまいりたいと考えている。

※その他の課題にも質問させて頂きました。

各派代表質問

公明クラブ
永本浩子



問)職員の能力や努力、成長を評価する人事評価制度は大切。現状と効果、課題は。

答)能力評価は年1回、業績評価は年2回行い、勤勉手当や昇給等に反映。職員の意識改革、人材育成、組織活性化が目標。面談を通し評価への納得性を向上させ、意欲的に仕事ができるよう、検証と改善を図っていく。

問)市長公約の女性職員50%達成度と見解は。

答)現在28%。働きやすい環境整備に努める。

問)市民の健康増進、スポーツ合宿や地域医療の充実に向け協定を結んでいた北大病院との連携とコロナ収束後の取組は。

答)昨年末、令和4年度の実施を確認した。感染状況を踏まえ協議を進めて行く。

問)今期は降雪量が多く市民も疲労困憊した。昨年提案した間口除雪のその後の対応と除雪人材の確保、技術の継承への対策は。

答)間口除雪は先行自治体の事例を更に研究していく。除雪体制の確保には、除雪機械の運転に必要な資格取得への補助を行っているがオペレーターの高齢化と若手の確保が課題。

問)持続可能な公共交通の構築には「どこバス」の成功が不可欠。年金生活の高齢者も利用しやすい料金設定と「最初の一步」を踏み出せる実践的な取組が必要。

答)65歳以上の利用者には回数券の割引に加え定期券の割引を設ける。説明会では予約方法から乗車まで実践的な取組をしていく。

問)長年空いたままの市営住宅の空き室は、社員住宅等に利活用すべき。

答)ご指摘の通り、空き室解消策は検討する必要がある。「公営住宅等長寿命化計画」更新時に利活用の検討をしていきたい。

問)道内では種イモ不足が深刻化。当市の種イモ農家と自家増殖の現状と対応策は。

答)当市でも種イモ農家が減少し、自家増殖する農家が増加。重要病害虫の防除の徹底と刑務所用地での種イモ生産を検討中。

問)修学旅行の誘致やファットバイクの活用、格安航空の2路線を活かした観光戦略を。

答)修学旅行は不安定な時代でも堅調な需要があり、体験型観光も目的地選択の大きな要因。2路線就航で新たな客層が期待でき、最大限活用した観光戦略を推進していく。

※この他、財政、ゴミ処理、教育等も質問

各派代表質問

日本共産党議員団
村椿敏章



問)行政改革で、廃棄物処理、除雪の委託、保育園の民営化などにより、サービスの低下が起きているとの声があり、これ以上の民間委託はすべきではないと考えるが。

答)行革で財政危機を回避してきた。多様化する市民ニーズに対応するため指定管理者制度による施設運営や業務の民間委託、民営化を行い、適時適切に行われていると考えている。

問)今後の新型コロナウイルス対策は。

答)ワクチン接種、抗原定量検査を活用し、クラスター発生防止や、市民不安解消に努めてきた。今後も感染状況によりスクリーニング検査や無料検査を実施し、感染拡大防止に努める。

問)令和4年度から国保の子どもの均等割りが負担減となる。高校生まで拡大すべきと考えるが。

答)未就学児が262名、小中学生と高校生の607名を軽減すると、免除額は3,847万円になる。

問)生活保護受給世帯のうち、高齢者や障がい者は。また、通院している受給者は何%か。

答)生活保護の499世帯のうち、高齢者世帯は310世帯、障がい者世帯は72世帯。受給者597名のうち通院は396名で66%になる。

問)市のごみ処分の方向が定まらない中で、広域化の推進は市民や近隣町民に誤解や混乱をまねくのでは。

答)人口減少とごみの減少などから、広域化の検討は避けられない。現在唯一焼却による中間処理をしている大空町での設置の判断や1市4町のごみ収集、リサイクルについての検討をするために行う。

問)計画の甘さと分別できないごみが埋立となった。この問題の反省と検証については。

答)徹底した分別のためには、市民の協力が重要。新たにつくる懇話会で現計画の反省点を検証し、新たな計画策定をする。

問)新電力会社の事業内容は。

答)発電の知識と技能を有する企業と共同出資で設立。5億円の事業費で年間200万kwhの太陽光発電パネルを設置し、売電と電力事業者の取次料を収入とする。出資会社と秘密保持契約があるため、会社名は言えない。

問)調理場の集約化ではなく、会計年度任用職員の格差解消をし、調理員不足の解決を。

答)調理等業務の委託は現時点で計画はない。集約化により大規模調理場での新人への指導や調理員への研修を継続して人材育成と定着を図りたい。

※その他の課題にも質問させて頂きました。

網走市議会初の取り組み

文教民生委員会が政策提言

一般廃棄物(ごみ)最終処分場の危機的状況を受けて 「延命」と今後のごみ処理政策検討に当たり

危機的状況にある一般廃棄物(ごみ)最終処分場の延命と新たなごみ処理政策の検討にあたり、文教民生委員会は3月2日、網走市に対して政策提言を行いました。

当市の一般廃棄物処理は、最終処分場が計画の1.8倍のスピードで埋まっている(15年間の使用可能期間が8年間ないし9年間に、残余年数は4年～5年)ほか、生ごみ、たい肥化率の停滞、本来は埋めない計画だった有機物の埋め立てに加え、紙おむつ再資源化の目途が立たず、結果的に、多額の追加支出を余儀なくされています。

網走市議会は議会基本条例において「地域課題の解決、市勢の発展に向けた政策形成を積極的に行うこと」(前文及び第7条、第9条)を重視しており、現下の状況に対して、文教民生委員会で3回の所管事務調査を経て政策提言を行う運びとなりました。

提言は「(現在のごみ処理)計画の見通しが甘く、施設、運用、費用、排出実態いずれの面でも計画と実際の乖離(かいり)が大きく、現行の分別制度開始後も効果的な改善が為されなかった」と指摘した上で、「改めて市民の理解と協力を得るべく、『ごみ最終処分場非常事態宣言』(仮)の発出」、「生ごみ処理機の導入費補助の復活や『段ボールコンポスト』の配布」など、最終処分場の延命関連8項目、「(現行の)計画の瑕疵が生じた原因と背景の検証を速やかに行い、市民と共有し、次期計画策定の礎とすること」など今後の検討に関する内容が6項目盛り込まれました。

※ 政策提言の全文はこちらをご覧ください。



計画の1.8倍のスピードで埋まっている明治の廃棄物(ごみ)最終処分場



各派代表質問

同志会

小田部 照



問) 市政執行の基本姿勢・理念について。

答) 市民・団体・企業・関係機関などとの信頼関係に基づく連携が欠かせないものと認識。課題や情報の共有に努め、誰もが安心して暮らし続けられるまちの実現を目指す。

問) 財政の状況について。

答) 実質公債費比率では19.4%から17.4%に改善、将来負担比率比では240.5%が112.5%に改善。財政力指数は0.397から0.442と若干上昇し、自主財源割合が高まっている。

問) 行政改革推進計画について。

答) 第5次期間中に見込まれる約28億円の収支不足解消を目標に、持続可能な行政運営の構築と市民満足度の向上を目指す。

問) ふるさと納税について。

答) デジタルマーケティングによる寄附者へのアプローチ手法の工夫、事業者との意見交換や連携した返礼品の開発・磨き上げなど市場の開拓や販路拡大、関係人口の拡大の課題に向け取り組みを進める。

問) 医療体制の課題への認識と取組について。

答) 診療所の閉院や医師の高齢化、救急医療の体制確保が課題。診療科や立地場所などのバランスを考慮し、医療提供体制の維持・確保に努める。

問) コロナ禍でオンラインを活用した教育が十分に実施されない学校もあり、格差を生まない学びを保障する取り組みが重要では。

答) コロナ禍でGIGAスクール構想が前倒しになり、まずは通常授業へ活用できるよう進めた。ICT活用の先進技術を市内学校に取り入れているところ。端末持ち帰りによる学習指導は様々な方法で活用したい。

※ 学校活動への地域の力の活用について等、その他様々な課題に対して質問しました。



予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会概要

令和4年度第1回定例会において、市から一般会計で239億9999万円、国民健康保険特別会計をはじめとする6特別会計で99億5695万円、公営企業会計合計で51億1152万円、総額390億684万円の予算が提出されました。

予算等審査特別委員会を設置し、各費目ごとの細部審査を実6日間に渡り行いました。本委員会における質疑は、当面する網走市政の諸課題及び新年度予算に盛り込まれた各事業に対しその取り組みや進捗状況について質疑がなされました。

【費目の質疑概要】

1日目(歳入・議会費・総務費・消防費等)
質問者11名

地域新電力会社設立、防災諸費、庁舎建設設計事業、花いっぱいまちづくり推進事業・情報システム整備、デジタル化推進事業、市史編さん事業他16項目について

2日目(民生費・衛生費)
質問者10名

新型コロナウイルス感染症検査対策ワーク、接種事業、開業医誘致推進事業、北海道障がい者スポーツ大会の開催、高齢者除雪、融雪サービス事業、廃棄物減量化等推進事業他24項目について

3日目(労働費・農林水産費・観光商工費)
質問者11名

ジャガイモシロシストセンチュウ緊急対策事業、水産資源量調査、デジタル化事業、森林整備事業、オホーツク流水館展示物改修事業、中心市街地活性化事業、「おいしいまち網走」PR事業、デマンドバス運行実験事業他25項目について

4日目(土木費・教育費)
質問者12名

市営住宅長寿命化修繕事業、市道の除雪、みなど観光交流センターの魅力向上、ICT教育推進事業、学校給食施設整備、ふるさとアーティストフェスティバル他26項目について

5日目(特別会計・企業会計)
質問者8名

公営企業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険特別会計他3特別会計について

【結果】

令和4年度各会計予算案は4項目の附帯意見を付し民主市民ネット、公明クラブ、同志会、志誠会の4会派、工藤英治議員(議員数計11人)の賛成多数で原案どおり可決しました。

附帯意見は、次のとおりです。

①市政運営に関して市民の信頼及び議会との関係性を損なう事業が頻発している。今後は行政組織としての姿勢を今一度見つめ

なおし、市民の信頼回復に努め、地方自治二元代表制の大原則である相互信頼の醸成に最大限の意を用いて市政推進にあたること。

②議案提出に際しては、公開を原則とする議会の審議、検証に耐え得るものとする。

③一般廃棄物処理に係る計画の検討にあたっては、現計画の検証と反省の明示、市民との共有を早期に行い、当市の基本的な方向性が確立された上で広域連携の協議に臨むこと。

④学校給食の提供体制整備は、今後のビジョンを早期に示した上で推進すること。



議案審査結果

第1回臨時会の議決結果について（令和4年1月20日）

○全会一致で決定・可決した議案

議案第1号 令和3年度網走市一般会計補正予算

報告第1号 令和3年度網走市一般会計補正予算に係る専決処分の報告について

報告第2号 令和3年度網走市一般会計補正予算に係る専決処分の報告について

第2回臨時会の議決結果について（令和4年2月21日）

○全会一致で可決した議案

議案第1号 令和3年度網走市一般会計補正予算

議案第2号 令和3年度網走市下水道事業会計補正予算

報告第1号 令和3年度網走市一般会計補正予算に係る専決処分の報告について

第1回定例会(3月)の議決結果について（令和4年3月2日～3月22日）

議案と議決結果

（○：賛成、×：反対）

※議長は、議決に加わりません。

志 誠 会			民主市民ネット			公明クラブ		日本共産党		同志会		無所属	
近藤 憲治	立崎 聡一	古田 純也	金兵 智則	平賀 貴幸	山田 庫司郎	澤谷 淳子	永本 浩子	松浦 敏司	村椿 敏章	石垣 直樹	小田 部照	工藤 英治	栗田 政男

○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）

議案第1号 令和4年度網走市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×
議案第3号 令和4年度網走市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議案第4号 令和4年度網走市網走港整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議案第6号 令和4年度網走市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議案第7号 令和4年度網走市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議案第11号 網走市常勤の特別職に属する職員の給与に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

○全会一致で可決した議案

議案第2号 令和4年度網走市市有財産整備特別会計予算	議案第22号 網走市ふるさと寄附条例の一部を改正する条例制定について
議案第5号 令和4年度網走市能取漁港整備特別会計予算	
議案第8号 令和4年度網走市水道事業会計予算	議案第23号 網走市公の施設に係る指定管理者の指定について
議案第9号 令和4年度網走市簡易水道事業会計予算	議案第24号 斜里町、清里町、小清水町、大空町との定住自立圏の形成に関する協定の締結について
議案第10号 令和4年度網走市下水道事業会計予算	
議案第12号 令和3年度網走市一般会計補正予算	議案第25号 大空町との定住自立圏の形成に関する協定の廃止について
議案第13号 令和3年度網走市国民健康保険特別会計補正予算	
議案第14号 令和3年度網走市網走港整備特別会計補正予算	議案第26号 土地改良事業の事務の委託に関する規約の一部改正に関する協議について
議案第15号 令和3年度網走市介護保険特別会計補正予算	
議案第16号 令和3年度網走市水道事業会計補正予算	議案第27号 令和3年度網走市一般会計補正予算
議案第17号 令和3年度網走市簡易水道事業会計補正予算	議案第28号 令和3年度網走市一般会計補正予算
議案第18号 令和3年度網走市下水道事業会計補正予算	議案第29号 網走市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について
議案第19号 押印等の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例制定について	
議案第20号 網走市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	議案第30号 網走市教育委員会教育長の任命について
	議案第31号 網走市教育委員会委員の任命について
議案第21号 網走市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
	決議案第1号 ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議について

トピックス

令和4年
第1回臨時会

令和4年1月20日
第1回臨時会が開催
され歳入歳出予算に
一般会計1億5054
万円の補正予算が上程
され、各常任委員会
で審議されました。

総務経済委員会では
港湾安全対策事業で
網走港に入ってくる
プレジャーボート等の
危険事故防止や漁業
活動への影響を考え
注意看板設置や安全
利用のルールづくりの
検討に係る費用430
万円を可決しました。

文教民生委員会では
新型コロナウイルスス
クチン接種事業で集団
及び巡回接種の医療
従事者や職員並びに
会計年度任用職員へ
の報酬・職員手当・接
種会場の利用料・高齢
者交通機関利用料など

合わせて1億462
4万円について可決
しました。

また同委員会では、子
育て世帯臨時特別給付
事業で児童一人当たり
10万円を現金一括支給
するための追加補正
2億3750万円を
令和3年12月20日に
専決処分した報告と、
住民税非課税世帯臨時
特別給付金で世帯当たり
10万円を支給するため
追加補正5億3983
万円を令和4年1月
6日に専決処分した
報告があり、いずれも
全会一致で報告承認
しました。

令和4年
第2回臨時会

この臨時会は、国の
補正予算(16か月予算)
の成立を受けて、市と
しては令和3年度の
大型補正予算を審議

するため2月21日に
開催されました。

一般会計では20億
4506万円を増額
し、補正後の額を29
8億9135万円に、
また、下水道事業会計
では1億5000万円
を増額し補正後は4億
4544万円とするも
ので、それぞれの所管
委員会に付託され審査
されました。主な補正
の内容は、総務経済委
員会所管では、デジタ
ル推進事業関連では、
公衆フリーWi-Fi
環境整備事業費25
64万円、オンライン
予約システム導入事業
費313万円、電子
文書活用促進事業費
954万円、また中心
市街地コワーキング
スペース整備事業費8
20万円、そして新型
コロナウイルス関連で
地域公共交通運行継続
支援金給付事業費14

28万円、インバウンド
受入施設支援金事業費
3600万円、宿泊
事業者への支援金事業
費1360万円などで
あります。さらには
除雪事業費2億230
0万円、通学路安全
対策事業費1億200
万円、橋梁長寿命化
修繕事業費1億165
0万円、市営住宅建設
事業費1億6672
万円などがあげられ
ます。

また文教民生委員会
所管では、窓口業務
支援システム整備事業
費2330万円、子育て
世帯支援金給付事業費
5010万円、小学校
電子黒板整備事業費
6561万円、小学校
(南小追加)トイレ改修
事業費1億4452万
円、中学校電子黒板
整備事業費2745万
円、中学校(一中・二
中)トイレ改修事業費

2億3310万円、中
学校(二中)屋根屋根
等改修事業費4928
万円など34件を細部審
査しました。また、年
度内での事業完了が難
しいため17億3342
万円、37件を繰越明許
費として補正すること
も審査しました。

その後、本会議で各
委員会の審査結果を
報告し可決しました。
さらには報告として、
専決処分されていた
社交飲食店支援金給付
事業費2310万円を
承認しました。



網走市の花 エゾムラサキツツジ